公民館大会・生涯学習推進大会を開催
若者や女性が活躍できる地域づくりを目指して

11月3日、第62回金山町公民館大会並びに第40回金山町生涯学習推進大会を開催し、120名を超す町民の皆さんが参加されました。

大会冒頭の式典では、令和元年度町表彰・感謝状贈呈該当者が顕彰されたほか、フラワーコンクール表彰者や卓越技能者顕彰者が紹介され、表彰状が授与されました。表彰者は左で紹介しています（敬称略）。

事例発表では、十日町ボランティアサークルの柴田純一さんと道草ぶんこう運営委員会の須藤幸一さんが自身らの活動を報告。また、山形大学チーム道草やSUGI☆スターズ、金山中生徒などの若い世代が活動を発表し、地域への思いを語りました。続けて、東北学院大学教養学部の柳井雅也教授が「若者や女性が輝けるまちづくりのこれから」と題して講演されました。参加者らは「今までと違った若い視点なども多く、新鮮で良い大会だった」と話していました。

本大会が契機となり、地域の核である公民館活動が、より活発に展開されることを期待します。

㊤チーム道草／各地域代表の事例発表／表彰の部受賞者の皆さん　㊥町芸文協会員の華道展／SUGI☆スターズ　㊦金中生による地域活性化に向けた提言／金山中吹奏楽部のオープニング演奏　※写真はすべて左から

●表彰の部
須藤典夫（田茂沢）阿部由里子（片貝）松田順一（朴山）阿部栄一（下野明）栗田今朝美（杉沢）伊藤文雄（七日町）大場征志（山崎）栗田和則（杉沢）加藤孝子（東京都）九十九博（奈良県）光藤淳一（東京都）齋藤和彦（神奈川県）矢口夘之助（下向）

●感謝状の部
寒河江宏一（七日町）黒沼孝一（羽場）横山芳子（七日町）栗田広基（小蝉）沓澤孝至（真室川町）山科奈津子（七日町）矢口勝（宮）松田哲夫（朴山）千川原誠一（杉沢）須賀稔（山崎）柿崎直喜（七日町）伊藤勉（朴山）栗田廣（杉沢）永山久美子（稲沢）庄司けみ子（谷口）丹美紀子（稲沢）栗田幹子（小蝉）須藤浩子（飛森）柴田貞夫（三枝）五十嵐久男（下向）佐藤富士雄（三枝）千川原芽久美（小蝉）正野美輝（下野明）伊東知昭（十日町）大場和弥（山崎）梁瀬浩男（下野明）佐藤英樹（上中田）三上勘一（飛森）矢口惠午（内町）橋間進（長野）柴田敏継（漆野）伊藤純男（七日町）早森由香（羽場）長岡由美（七日町）長倉章（三枝）金山活粋野菜倶楽部にら部会

●金山町卓越技能者顕彰者
岸重夫（七日町）矢口幸雄（山崎）千川原健吉（下中田）丹和榮（内町）

●全町美化・花いっぱい運動フラワーコンクール
団体の部【最優秀賞】荒屋地区【優秀賞】羽場地区、新庄南高校金山校、三枝地区
個人の部【最優秀賞】阿部勝子（荒屋）【優秀賞】樋渡サカエ（三枝）長倉繁美（三枝）

町内の全児童に夜光反射材を寄贈
ランドセルにつけて夜間の交通事故防止

町並びに町交通安全母の会、最上地区交通安全協会金山支部の3者が、夕暮れの時間帯に下校する児童の交通事故防止を図るため、各小学校にLEDライト付き夜光反射材を寄贈しました。

10月24日には、町交通安全母の会の松田聖子会長が3校を訪問し、校長先生ほか児童の皆さんに手渡しました。松田会長は「この時季では初めての取り組み。夜間の交通事故を未然に防ぐ狙いだ。子どもたちに気に入ってもらえるよう、フクロウのデザインを選んだ」と話していました。

（後列右から）松田聖子会長、髙橋幹弥金山小校長、（前列）金山小1年生

カーブミラー4基を町に寄贈
JA金山とJA共済連山形が20年以上

10月30日、金山農業協同組合並びに全国共済農業協同組合連合会山形県本部から、町にカーブミラー4基を寄贈いただきました。

これは交通安全対策事業の一環として実施されているもの。平成7年から毎年寄贈いただいており、見通しの悪い交差点や要望のあった箇所、老朽化したカーブミラーの代替として順次設置しています。今までの合計は189基。町内各地で交通安全と事故防止のために役立っています。長年にわたり寄贈いただき、ありがとうございます。

（右から）JA金山の柴田義正理事長、JA共済連山形県本部の担当者

各地区区長が福島県へ視察研修
西会津町の廃校利用施設などを見学

各地区の発展に日々尽力されている区長の皆さんが、11月9～10日の2日間、視察研修のため福島県を訪問しました。

1日目は、喜多方市の歴史を感じる街並みや西会津町の廃校利用施設を視察。また、全国で唯一同名の市町村である福島県金山町を訪問されました。廃校となった洋風の小学校を活用した金山町自然教育村会館や道の駅奥会津かねやまを見学した皆さんは「良い事例は参考にしたい」と話していました。今後の地域づくりに活かせる視察研修となりました。

廃校を活用した西会津国際芸術村は、アトリエとして芸術家が滞在する

新たに300馬力のロータリ除雪車を購入
積雪の多い有屋地域での活躍を期待

事故や故障を防ぎ、安全で迅速な除雪作業を実現するため、町ではロータリ除雪車を新たに購入し、老朽化した前機械から更新を図りました。11月13日には納車式が挙行され、事故なく安全に除雪が行われるよう祈願されました。

新たな除雪車は、除雪幅2．6m、300馬力級と積雪が多い地域でも作業が可能なパワーを保持。また事故防止のための後方カメラや拡声器を装備しています。4号車として、有屋地域の通常除雪と公共施設駐車場の除雪を担う予定です。

今年から活躍するロータリ除雪車と町除雪班の皆さん